

町の考え方を問う

一

般

質

問

12月定例会では、観光問題・環境問題など、町政全般へ9名17項目にわたり質問がありました。なお、質問者及び質問項目は、左の表のとおりです。

- 村野由紀子 (P4)
 - ・ 予防ワクチンの公費助成について
 - ・ 町の環境美化対策について
- 勝俣 公好 (P5)
 - ・ 仙石原出戸町営住宅跡地利用について
 - ・ 新たな分別収集について
- 石川 栄 (P5)
 - ・ 住宅用火災警報器の設置について
 - ・ 消防団の状況について
 - ・ 観光施設の経営実態について
- 遠藤 秀則 (P5)
 - ・ 道路網整備計画について
- 沖津 弘幸 (P6)
 - ・ 消防の広域化と消防・救急無線のデジタル化について
 - ・ ごみ処理の広域化について
 - ・ 新規建設予定の広域火葬場計画の経過について
- 勝俣剛一 (P6)
 - ・ 地域医療体制推進事業について
 - ・ 箱根中学校スクールサポートについて
- 川端 祥介 (P6)
 - ・ 箱根町財政健全化プランについて
- 村上東司 (P7)
 - ・ 平成23年度観光振興の取り組みについて
- 山田和江 (P7)
 - ・ 住宅リフォーム助成制度の創設について
 - ・ 宮城野保育園存続の確約を求める

福祉

予防ワクチンの公費助成について

Q ①子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3種ワクチンの助成についてお伺いします。

A ヒブワクチン、子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3種とも日本での販売製造が可能になったのは近年のことであり、比較的新しいワクチンである。これらの3種のワクチンは、現在のところ当町では、公費助成をしていない。

神奈川県下においては、平成22年9月以降、鎌倉市、大和市、松田町、中井町の4市町において子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を始めているが、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについては公費助成している市町村はまだない。

そのような中、国において、予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等にかんがみ、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種法上の定期接種化に向けた検討を行うこととしており、これを踏まえ、これらの予防接種を促進するため、補正予算において必要な経費を措置することとなった。

現在のところ、まだその詳細については示されていないが、対象者としては、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンは、0歳から4歳の乳幼児、子宮頸がん予防ワクチンは、中学1年生(13歳相当)から高校1年生(16歳相当)の女子となるようだ。

当町としても、町民の安全と安心を守るという観点から国の方針に則った形で公費助成を行っていきたいと考えているが、予防接種事業については、できる限り1市3町、統一した方式で社団法人小田原医師会にお願いをしていきたい。

そのような中、国において、予防接種部会における意見書や国際動向、疾病の重篤性等にかんがみ、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌

